

大会名称: 東日本大震災復興支援  
第10回全日本社会人バスケットボール選手権大会

開催場所: 酒田市国体記念体育館 Bコート

試合区分: No. 207 女子 3位決定戦

期 日: 2014(H26)年11月3日(月)

主審: 星野 由貴

開始時間: 12:50

副審: 河野 仁, 細田 知宏

紀陽銀行		○	20 - 17 14 - 11 16 - 15 16 - 15 - - -					●	ストレッチ						
(実業団2)		66						58	(クラブ1)						
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	唐津 亜耶	9	1	3	0	1	0	*	花田 有衣	9	0	3	3	4
5		広倉 千夏	-	-	-	-	-	3		小磯 典子	-	-	-	-	-
6		三矢 紗由季	16	0	7	2	4	4		武藤 里衣子	0	0	0	0	0
7	*	青山 詠美	10	0	5	0	0	5		永田 睦子	-	-	-	-	-
8		前川 綾香	-	-	-	-	-	6		松本 有方	4	0	2	0	0
9		菅沼 夏菜	7	0	2	3	1	7	*	林田 明佳	9	1	3	0	2
10		高橋 咲	-	-	-	-	-	8		二宮 可南子	3	1	0	0	2
11	*	後藤 美紀	7	1	1	2	4	10	*	大倉 悦子	4	0	2	0	1
12	*	広倉 綾乃	3	1	0	0	4	11		兼頭 沙樹那	4	0	2	0	2
13		宮内 智子	0	0	0	0	0	12	*	下田 弥生	2	0	1	0	2
14	*	藤口 由加里	12	1	4	1	2	13		鷺尾 真優美	3	1	0	0	1
15		安田 理佐	2	0	1	0	0	14		菊川 仁美	-	-	-	-	-
16		登倉 美幸	-	-	-	-	-	15	*	川上 聖子	18	0	5	8	1
								16		坪田 朋子	-	-	-	-	-
								17		深江 真美子	-	-	-	-	-
								18		石丸 実佳	-	-	-	-	-
								20		松木 結香	2	0	1	0	0
コーチ		伊藤 篤司 / TEAM						コーチ		太田 京子 / TEAM					
		合計	66	4	23	8	16			合計	58	3	19	11	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

女子3位決定戦。ストレッチ対紀陽銀行。ストレッチ・紀陽銀行ともマンツーマンでスタート。立ち上がり、ストレッチは#15川上のドライブ、速攻で得点を重ねる。対する紀陽銀行は外角からのシュートで応戦するものの、得点につながらない。中盤、紀陽銀行は#9菅沼の3ポイント・#14藤口のドライブ等で立て直し、20-17で紀陽銀行リードで終了。

2P、紀陽銀行#6三矢は高さを活かした力強いプレーで得点を重ねる。一方ストレッチはミスが重なり、なかなかリズムに乗れない苦しい展開が続くが#15川上のファウルを誘うプレーで応戦する。お互いが思うようにシュートが決まらないまま、ロースコアで試合が展開し、34-28紀陽銀行リードで前半終了。

3P、流れに乗りたいたいストレッチはハーフコートゾーンに変えリズムをつかもうとする。紀陽銀行は#12広倉、#14藤口の3ポイントなど外角のシュートで差を広げようとするが、ストレッチは#15川上の1対1や#7林田の3ポイントで応戦し、一進一退の攻防が続く。安定したゲーム運びをする紀陽銀行が#6三矢がゴール下を着実に決め50-43で3P終了。

4P、引き続きリードする紀陽銀行はハーフコートマンツーマン、リズムをつかみたいストレッチはハーフコートゾーンでスタートする。ストレッチは#15川上・#7林田の1対1で攻め込むが苦しいシュートが続くリズムに乗れない。残り4分タイムアウト直後#0花田が1対1で攻め込み得点するが、最後まで冷静にボールを運び、インサイドとアウトサイドをバランス良く決め続けた紀陽銀行が66-58で勝利した。